資生堂

ヘアケアブランド「TSUBAKI」刷新

資生堂は、発売10周年を迎えたヘアケアブランド「TSUBAKI」(全13品目23品種、オープン価格)を9月上旬にリニューアルした。今回のリニューアルでは、「色気は髪からはじまる」をコンセプトに、しっとり艶やかな髪で華やかかつ自然な「色気」をつくり出し、日本の大人の女性の魅力を引き出すことを目指す。

既存の3タイプ(赤・白・紫)は、艶機能を進化させ、しっとり艶やかな髪から自然な「色気」を引き出し、日本の大人の女性の魅力をさらに高めるとともに、新たにオイルシャンプー&コンディショナーを2タイプ(ゴールド・ピンク)追加し、さまざまな女性の髪の悩みや志向に対応していく。

赤・白・紫の3タイプは、上品な「色気」をまとった大人の女性でありたいと願う人に向けて発売。髪悩み対応機能を強化すると同時に、ブランド史上最高の艶で「色気」を感じる髪を実現した。

オイルシャンプー&コンディショナーは、健康的な「色気」を醸し出したいと願うナチュラル&天然素材志向の人に向けて登場。長崎県五島列島で採れた一番搾りのピュア椿オイルを配合し、毛先まで指どおりのよい健康的な「色気」あふれるツヤ髪を実現している。

花王

「リーゼ 軽やかストレートオイルミスト」を発売

花王は10月1日、ヘアスタイリングブランド「リーゼ」から、「オイルの霧でスタイリング」を訴求した朝のスタイリングに一石を投じるヘアオイルミスト「軽やかストレートオイルミスト」(88mL、オープン価格)を発売する。

リーゼでは、髪のスタイリングの4つの悩み(うねり・クセ、ハネる、広がる、パーマラインが出ない)に対応したシリーズを展開しているが、2014年に行ったスタイリング悩みに関する調査では、この4つの悩みに加えて、「浮き毛」や「からまり」を気にしている人が約2割に達していることがわかった。

今回発売する「軽やかストレートオイルミスト」は、スタイリング成分を配合したオイルを霧状にして髪の表面にすばやくムラなく広げる同社独自開発の技術で、ベタつきが気にならない軽い使い心地となっている。気になる部分にシュッとひと吹きしてから、くしを1回通せば、毛流れを整えることができるという。

ライオン

「BATHTOLOGY 泡のボディケアウォッシュ」刷新

ライオンは、ワンプッシュできめ細かい泡がたっぷり出て、手で体を洗うことで肌への摩擦刺激を抑えるボディソープ「BATHTOLOGY 泡のボディケアウォッシュ」(本体450mL、つめかえ用350mL、オープン価格)のパッケージデザインを一新し、9月より全国にてリニューアル発売した。

パッケージには、「ホワイトフローラルの香り」にはジャスミンの花を、「アロマローズの香り」にはローズの花を、それぞれ繊細なタッチで描いたイラストをあしらうことで、「上質さ」と「大人っぽさ」を演出した。

また、「アロマが香る贅沢な泡でしっとり艶肌」と「乾燥ケア」という文言を明確に表現し、乾燥ケアをしつつ、泡の良さや仕上がり感を訴求している。

ニベア花王

濡れた手に使う新発想のハンドミルクを発売

ニベア花王は、「アトリックス」(200mL、オープン価格)を発売した。

濡れた手に取って伸ばすと、手肌のすみずみまですばやく広がりなじみ、それを水で流すと、保湿成分が肌に残ってうるおいのある肌に整える新発想の「ハンドミルク」。手洗いや水仕事のあとに続けて手軽に使ってもらえるようポンプ式容器を採用している。

私のH&B日記

心から応援する選手

今月5日にNHKで放映された「プロフェッショナル 仕事の流儀」で、数多くの義足アスリートをパラリンピックに送り出し、競技用義足作りの第一人者として知られる義肢装具士の臼井二美男氏を取り上げていた。

この日仕事を終えて帰宅し、風呂上がりに何気なくTVをつけた瞬間、偶然その番組で中学時代の同級生(村上清加選手)がリオパラリンピック出場をかけた陸上・走り幅跳びの最終選考レースに臨む勇姿が映し出され、疲れもどこかに吹き飛んで画面を食い入るように見ていた。

彼女は7年前、貧血で駅のホームから転落し、右足を切断する不慮の事故に遭った。ショックのあまり病室で泣き続ける毎日だったが、臼井氏が設立した切断者スポーツクラブ「ヘルスエンジェルス」の存在を知り、事故前の自分を取り戻すべく、好きだった陸上を始めた。

彼女は「障がいがあっても楽しく生きられると伝えたい」という一心で、義足を隠さないファッションショー(切断ヴィーナスショー)のモデルを務めるほか、小・中学校で障がい者スポーツに関する講演を積極的に行うなど、競技以外でも幅広く活躍している。フェイスブックで互いにフォローしているので、こうした様子がタイムラインにアップされる度、それを見て自らの励みとなっている。

彼女は番組内で「右リンピックを目指したい」というように、次々と目標や夢を持つことができ、数え切れないほど多くのことをもらえた」と感謝の言葉を述べていた。

リオパラリンピックの最終選考レースでは自己ベストタイの記録を出したものの、惜しくも出場権を獲得することは叶わなかったが、4年後の東京パラリンピックでは、彼女が日の丸を背負って躍動する姿を見せてくれることを願ってやまない。

(之)